## ■「一歩踏み出す」修学旅行

　修学旅行から帰ってきた６年生を教室で迎えたのは、上のようなあたたかいメッセージが描かれた黒板でした。天候に恵まれることを祈ったテルテル坊主を作った５年生が、この黒板も描いてくれました。また、登下校、委員会活動や縦割りそうじなどの当番活動も、６年生に代わってリーダー役を務めてくれたようです。ありがとう、５年生。

　さて、修学旅行・宮島での買い物で「一歩踏み出す」のメッセージが書かれたしゃもじを買った子がいました。
　今回から行き先を広島・岡山方面に変更した修学旅行には、たくさんの「一歩踏み出す」場面があったように思います。
　平和記念公園では、外国の人に”Where are you from?”と尋ねました。そして、碑めぐりや資料館で感じたことをしおりにメモしていました。ホテルでは、自分たちの部屋や浴場で履物をそろえたり、布団や食べ終わった食器を手分けして片付けました。
　また、集合時刻を意識して、友達に声をかけたりする場面も多く見られました。
　いずれも、今回の修学旅行を「自分事」「自分たち事」の学びにしようとした６年生の姿です。

　被爆者の方の講話の中での「『（原爆死没者慰霊碑の）過ちは繰り返しませぬから』は誰が誰に対して言っているのか」「平和は机上の空論や理想論ではなく、友達と仲良くするなどの身近なところから考えなければならない」を踏まえ、引率した私たちも６年生と一緒に「在りたい未来」に向けて、一歩踏み出す修学旅行となりました。

（校長　　山本　考一）

校長ブログ：府中っ子の学校での様子をお伝えします。（パスワード：[redacted]）